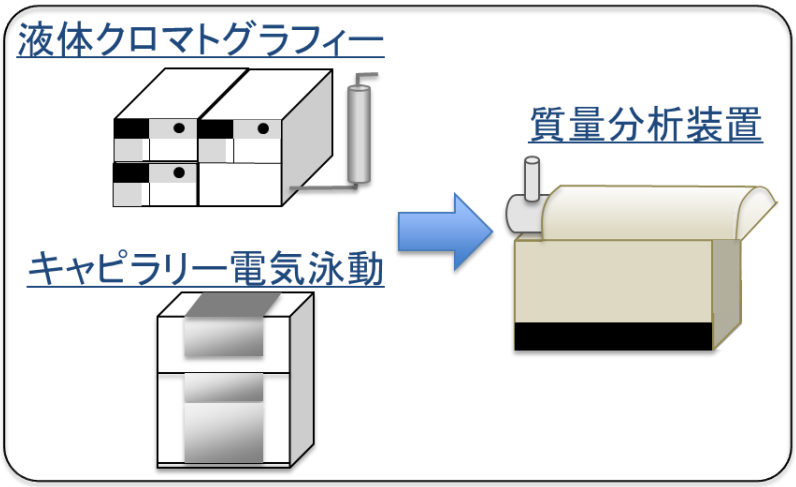
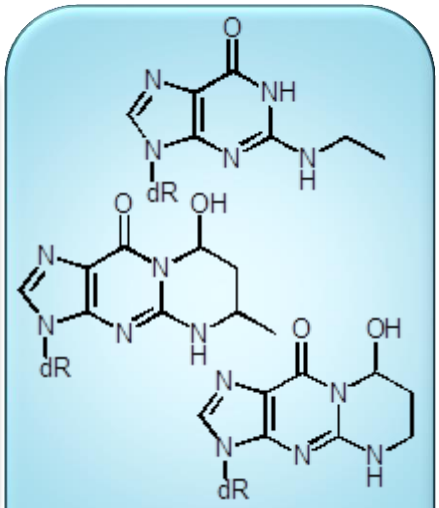
DNAの損傷をはかる

ヒトの体は，様々な有機化合物に日常的にさらされています．そのため，数多くのDNAの損傷が起こっていますが，もちろん多くの損傷は，生体の優秀な防御機構によりほぼ修復されます．しかしそれを免れたDNA損傷が，発ガンの原因になる可能性が考えられています．当研究室では，そのような極微量にしか存在しないDNA損傷体を，液体クロマトグラフィー装置およびキャピラリー電気泳動装置で分離し，質量分析装置で検出する分析技術を基盤として，簡単・高感度・高精度な測定システムの確立およびその手法を用いたDNA損傷体量からの発ガンのリスクマーカー探索を行っています．





DNA損傷体の一例